

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー!
生産者様の声を紹介いたします。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【トマト】熊本県 甲斐さん

トマトの生育がとても良くなり、
効果の高さを実感。
良い薬剤なので今後も使いたいです。

ネコブセンチュウの被害に遭った翌年、
ネマトリンエース粒剤を使ってみて効果を実感。

冷涼な気候を生かした夏秋トマト栽培が盛んな熊本県阿蘇市で、大玉トマトの「りんか」を85a栽培されている甲斐さんにお話を伺いました。「トマト栽培で軟腐病などの病気以外に問題になるのはネコブセンチュウです。線虫の被害に遭うと出荷できないくらい小さなトマトしかならなくなってしまい、病気によって枯れるのと同じぐらい大きな被害になります。4、5年前は、ハウス内の1



列全部が被害に遭って収穫不能になってしまいました。大きな線虫被害に遭うと利益が出せず経営にも影響を及ぼしかねないことを痛感しました」と、当時を振り返りながら話してくれました。その時にJAの指導員に相談して勧められたのがネマトリンエース粒剤だったそうです。「大きな被害を受けた翌年にネマトリンエース粒剤を使ってみたら、『あ、ここまで変わるんだ』と驚きましたね。収穫量が大きく変わり、トマトの生育もとても良かったです。その年は前年と比べて1.5倍ほど収穫量が増えました」と目に見て効果を実感されたといいます。

7ヶ月間トマトを守り抜くために、
線虫防除でこれからも使用していきたい。

現在の線虫防除は、ネマトリンエース粒剤とガードホープ液剤を体系で使用されています。「4月の定植前にネマトリンエース粒剤を全面土壌混和した後、ガードホープ液剤を梅雨明けの少し前に土壌灌注しています。両剤を併用することで、定植から収穫終了までの約7ヶ月間、線虫被害を抑える効果が続くので、収穫量が安定しています」と、高い収量を確保するために線虫防除は念入りにされています。ネマトリンエース粒剤への信頼は厚く、「実際に使ってみてすごく良い薬剤だと思ったので、これからも使っていきたいですし、農家仲間にも勧めていきたいと思います」と高い評価をいただきました。

甲斐さんのトマト栽培における一番の喜びは、「自分なりに試行錯誤して作ったトマトを食べた人においしいと言ってもらえた時」と笑顔で話します。今後もネマトリンエース粒剤が線虫被害を抑え、おいしいトマト作りを支え続けます。

※取材時(2024年10月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社 普及部 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



“使用者の声”は
webでもご覧
いただけます